

左 : アブラコウモリ



右 : モリアブラコウモリ

コウモリというと何故か気味悪がる人が多いのですが、中国では幸福の象徴として伝統的な装飾には必ず描かれるモチーフですし、日本でも着物のデザインや道具の装飾にコウモリが描かれているものが少なくありませんでした。また、カステラ屋として有名な福砂屋の商標もコウモリですし、日本石油の昔の商標にもコウモリを図案化し



たものが使われていました。これを思うと現在はえらい差別だと思うのですが、ちょっと左の写真を見てください。結

構可愛いらしい顔をしていると思いませんか？

このコウモリの仲間、日本では、36種も確認されているのですが、日本に生息する陸生哺乳類の中で最も種数の多いグループであること

ある日のフィールド・ノートから

コウモリ

は、残念ながらあまり知られていません。しかも、その大部分が環境省の選定する「日本の絶滅の恐れのある野生生物」に該当するのですが、生態にはまだまだ謎が多く、捕獲しなければ種を調べることも困難なことから、通常の生物調査ではコウモリ類の生息状況を把握することはかなり難しいというのが現状です。

さて、上の写真のコウモリですが、良く似てはいますが左側はアブラコウモリという市街地で最も普通に見られる種、右側はモリアブラコウモリという天然林に生息する種です。モリアブラコウモリの方は「日本の絶滅の恐れ

のある野生生物」の絶滅危惧 B類に該

当しています。モリアブラについては相当に希少な種ということになるのですが、私が捕獲許可証を得て研究している東京の郊外では同一の場所でこれら2種が捕獲されただけでなく、モリアブラコウモリも多数生息していることが分かりました。山地に近接する地域とはいえ、市街化が進んでいるこんな場所に生息しているのかと大変に驚きました。同時に、最近は都市近郊の開発が顕著ですので、こうした珍しいコウモリの存在に気づかないまま、多くの生息地が失われていることへの強い危機感もおぼえました。

地域特有の多様で独特な生物相をより正確に把握することは大変に時間と労力を必要とすることですが、私たちにはその高い能力が求められていることを今ほど痛切に感じる時はありません。

(本社自然環境調査室・重昆達也)

ご意見 ご質問
お待ちしております

素朴な疑問やご感想など、下記のアドレスまでお寄せください。お待ちしております。

E-mail :nl-info@chiikan.co.jp

「ひさかたの 光のどけき春の日に しづ心なく 花のちるらむ」1000年前の詠み人も、21世紀に生きる私たちも花をみて同じ感慨にふける・・・現代の私たちはそれを「環境共生」と呼ぶようです。(中山香代子)

旅立ちの春、飛躍の春、生き物は活気づき、木々が萌えたつ。鼻をつく草花からの照り返し、そんな時期がまたやってきました。つかの間の繰り返し、いつか見たようで、初めての景色。(伊藤 透)

家庭菜園のセリや三葉が青々と伸び始め、「あぁ緑ってなんて清々しいんだろう」などと、こんな所で季節を感じる私って・・・チョットさみしい？！でも、植物の成長するかってすごいですね。(鈴木志保子)

満開のエゴノキを見つけると、思わず木の下へ走り寄って見上げてしまうこの頃。今年は種を拾って育ててみたいと思います。(高岡由紀子)

News Letter NO.11 2001年5月

【発行】.....株式会社地域環境計画

発行人.....高塚 敏

編集...中山香代子・伊藤 透・鈴木志保子・高岡由紀子

東京本社 〒154-0015
東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSビル
TEL 03-5450-3700 / FAX 03-5450-3701

大阪支社 〒569-1123
大阪府高槻市芥川町1-15-18 ミドリ芥川ビル
TEL 0726-84-3182 / FAX 0726-84-3184

営業窓口.....中山香代子

北海道支社 〒001-0017
北海道札幌市北区北17条西5-20-303
サンオービルF

TEL 011-717-8001 / FAX 011-717-8021
営業窓口.....中島正雄